

**【研究室名】**

バイオミメティック科学研究室

**【担当教員】**

教授 菊池 純一、助教 安原主馬、助教 田原 圭志朗

**【教育目的】**

バイオミメティック科学分野の実験・研究を通じて、高度な専門知識の習得と関連分野の幅広い知識の習得を行い、科学技術者・研究者として必要な研究企画力、研究遂行能力、問題解決能力、研究成果発表能力などを身につけることを目的とする。

**【指導方針】**

研究テーマを個別に設定し、その目標達成に向けて個別指導を行う。習得すべき共通の知識、実験技術などに関しては、各種のゼミナールで全員に、あるいは小グループに分けて指導を行う。

**【ゼミナール】**

**検討会**（毎週 1 回、1 回につき 2 名程度）：各自の研究の進捗状況について、配布用の説明資料と Power Point を併用して、一人 30 分程度説明を行い、その後に全員で討論を行う。一人につき約 1 時間。

**雑誌会**（毎週 1 回、1 回につき 1 名程度）：関連する研究分野の最近の国際ジャーナルの研究成果を取り上げて、配布用の説明資料をもとに詳しく解説し、それに関して全員で討論を行う。一人につき 1～2 時間。

**勉強会**（必要に応じて適宜、1 回につき 30 分から 1 時間程度）：研究を推進する上で、研究室のメンバーに共通かつ必要な基礎知識の習得を目的に、教員あるいは学生が特定のテーマを設定して、講義あるいは演習形式で勉強会を行う。

**Weekly Report の提出と小グループでの討論**：毎週月曜日に、全員が各自の前週の研究結果と今週の研究計画について、レポートにまとめて提出する。関連する研究テーマ毎に、必要に応じて小グループに分かれて討論を行い、その週の研究方針を明確化させる。

**【参考書】**

特に指定はしないが、例えば、大学院レベルの有機化学のテキスト、生化学のテキスト、生体関連化学、超分子科学、コロイド科学などの参考書など、研究テーマに応じて異なる。

**【修士学位取得条件】**

国際ジャーナルに 1 報以上、あるいはそれに準じる研究成果をあげること。

**【博士学位取得条件】**

国際ジャーナルに数報以上、あるいはそれに準じる研究成果をあげること。

**【その他】**

学生の研究意欲の向上と、世界の中での自分の研究の位置づけ、ならびに客観的評価ができるように、学生自身による学会発表を積極的に行う。